

平成23～24年度 図書館委員のご紹介

図書館委員会は、さまざまなご専門の先生方により構成される図書館運営に関する諮問機関です。ご検討いただく内容は、図書館の運営方針、予算・決算、図書・資料の選定・購入に関することなどで、任期は2年です。

平成23～24年度の図書館委員は、以下の10名の先生方に決まりました（敬称略 五十音順）。

井上恵理 江崎公子 江澤聖子 小川哲生 蔭山真美子 加藤一郎 末松淑美 沼口隆 藤井喬梓 山本英助

先生方にアンケートにお答えいただきました。

⇒ 質問項目 ◀ *アンケート実施：2011年4月

1. 最近のマイブーム（お気に入り）をお教え下さい。
2. ペットについてお尋ねします。犬派ですか、猫派ですか？ どちらも好きでしょうか？ その他お好きな動物がいましたらお教え下さい。
3. 庭がなくなってしまいました、学内にお気に入りスポットがありましたらお教えてください。
4. 座右の銘はございますか？
5. 学生さんに4年間でこれだけはやってほしいことがありましたら、お書きください。

井上恵理
リトミック

1. サイクリング。実は自転車は子どものころには乗れず、40歳を過ぎてから、子どもと一緒に練習して乗れるようになりました。横浜に住んでいますが、時間があればペダルを踏んで、新しい道、場所を発見するのが楽しみです。
2. 犬も猫も好きです。昔はマルチーズと猫と一緒に飼っていました。仲良しでした。
3. 正門に入る前の右側にある芝生がお気に入りです。特に、一番高いところにある桜の木は大好きで、いつも話しかけてから（もちろん心の中で）大学に入ります。どの季節も、晴れの日も、雨の日も、美しいです。それから本部棟の前にある2本の大きなどんぐりの木。立派などんぐりを毎年実らせてくれます。どんぐり拾いが楽しみです（どんぐりは教材につかっています）。
4. 「千里の道も一歩から」「七転び八起き」「笑う門には福来る」
5. 一生つきあえる音楽仲間をつくること！失敗を恐れず、勇気と希望をもって自分の夢にむかってチャレンジすること！

江崎公子
音楽教育

1. 掛川の深むし茶をさらに粉末にして、全部飲（いただ）くこと。チンする温野菜（食のことはかりです）。
2. 犬派です。グレート・デーン「優しい巨人」が好きです。実際には飼うことができませんので、一時グレート・デーンの模様を編み込んだセーターにはまっていました。
3. 庭ではないのですが、玉川上水べりが大好きです。駅南口に降りて、朝日の木洩れ日の中を歩くこと、瀬音を楽しみながら土を感じるのは至福の一時です。
4. 「好きこそものの上手なれ」 本当に自分が知りたい、あるいはなりたいと思うことには、いくらやっていても歩むことができると思っています。
5. 恵まれた環境の中で、できるだけ多くの人と、多種多様な楽器や演奏形態でアンサンブルを経験して下さい。疑問に思ったら、この恵まれた図書館ですぐ資料（楽譜も音源も）にあたる習慣を身につけて下さい。

江澤聖子
ピアノ

1. 目下、5月14日にあるリサイタルに向けて、全神経を集中させています！
2. 犬も好きですが、15年生活を共にした猫が忘れられないので、やはり猫派です。大学時代に二組のセキセイインコのつがいを飼い始め、最大60羽まで家族を増やし、全てのインコに名前をつけて雛から大切に育てました。それぞれに様々な思い出があります。
3. 図書館へ上る階段、メディアセンターに下りる階段が好きです。知的空間に入っていくワクワク感があります。今度完成する新校舎には素晴らしい大階段ができますね。毎日上り下りしたらダイエットできるでしょうか(笑)
4. 悩みを突き抜けて喜びに到れ（私の最も敬愛するベートーヴェンの言葉です）
5. 将来について悩むことも多々あると思いますが、まずは目の前にある勉強、自分に一番合っていると信じる科目をとことん頑張って極めて下さい。そこから必ず未来につながる鍵が見つかります。

小川哲生
声楽

1. 数独（ボケ防止？）
2. どちらかというと犬派です。カピバラが好きですヨ。
3. 校内のどこかにハクビシンの別荘が……。
4. 今はリハーサルとしての人生（だから、恐れず楽しんで練習しましょう！）来世のために。
5. 世界に誇れるわが図書館を出来るだけ多くご利用下さい。音楽資料の宝庫ですよ。

蔭山真美子
音楽療法

1. ドッグフードについての研究（うちの犬は、最近なぜドッグフードを食べなくなってしまったのか）。
2. どちらも大好きですが、今飼っているのが犬（ミニチュアダックスフンド）なので、犬派です。実家には24歳になる猫がいます。動物は大小かわらず、何でも好きです。
3. 5号館のトイレ入り口の扉。「DAMEN」「HERREN」の表示から、ドイツの香りが漂ってくるようで好きです。
4. 「まったり」
5. ①自分のために思い切り使える時間を持てるのは、学生時代しかありません。貴重な4年間を出来る限りたくさんの練習と勉強に費やして下さい。②先生方や友人たちとの関係を大切に！一生の宝だと思います。

※ 加藤 一郎
ピアノ

1. 家の玄関先の桜んぼの木に、溢れるほど実が生りました。口に含むとまだ甘酸っぱく、渋みもありますが、生命力の豊かさを感じています。
2. 私はかつて、どちらも飼っていました。互いに体を舐めあうような仲の良い犬と猫でした。犬の方は感情表現が豊かで、自分のことを人間の員外と思込んでいるようでした。一方、猫の方はあくまでも自分に正直で、好きな人の膝にしか乗りません。どちらが好きかは難しいところです。
3. レッスンをしていてつい冷静さを失った時に、校庭が目に入り、落ち着きを取り戻したことが何度ありました。季節の移ろいと共に、様々な花が咲き、新緑、紅葉、そして冬枯れもありました。あの庭に代るお気に入りスポットを探すことは中々難しいですが、講堂の中庭にはちょっとした木立があり、彫刻もあって、安らかな気持ちになります。
4. 恥ずかしながら、「座右の銘」などということを意識したことはありません。自分としては、日々の精進に努めているつもりです。
5. 大学の4年間は人生の全く基礎の部分にあたると思います。しかし、専門を問わず、様々な先生や友人と出会い、多くの知識を得、技術を身に付けることで、この4年間の厚みは随分変わってくると思います。自らチャレンジし、挫折もし、また立ち上がって行く中で、何かを掴んでいけるのではないのでしょうか。そうした模索を大切に、有意義な学生時代を送って頂きたいと思います。

※ 末松 淑美
独語

1. ハンディブレンダーを買ったので、鍋で野菜をコトコト煮てそのままフィーンとスープにしたり、好きな果物でフレッシュジュースを作ったり、楽しんでます。
2. どちらかと言えば猫派。子供の頃はリス、金魚、セキセイインコなどを飼った経験があり、両親に感謝しています。現在は仕事で留守が多いのでペットなし。ベランダで花を育てています。小さい頃犬を飼いたがっていた娘には、ちょっと申し訳なかったと感じています。
3. 図書館の参考図書コーナーで、窓の外の緑を眺めながら本や雑誌を読むこと。ときどき電車の音が聞こえ、夕方だんだん太陽が傾くのも感じられ、気に入っています。
4. ときどき自分に言い聞かせる言葉としては「継続は力なり」があります。毎日仕事と家事でたばたと時間が過ぎてしましますが、語学に限らずとも少しずつ続けていると、ある日振り返ってみてちょっと前に進んだかなと思える瞬間があります。そういうときは嬉しいですね。
5. せっかく豊富なカリキュラムと、豊富な資料を所蔵する図書館があるので、「自分の専門に関係ない」などと言わず、外国語・文化・歴史・社会・音楽などの幅広い学習を心がけてほしいです。そして、ぜひ豊かな感性を育ててください。

※ 沼口 隆
音楽学

1. 被災地の地酒です。もともと東北の日本酒は好きです。
2. 犬も猫も好きで、両方とも飼ったこともあります。機会があったら、小豚を飼ってみたいです。
3. 図書館の開架図書のあたりでしょうか。書籍の背表紙などを眺めていると、その場で思い出したことをすぐに調べられて便利です。
4. 低空飛行
5. やはりなるべく多くの音楽に触れることでしょう。いわゆる「クラシック」に限定する必要はないと思いますし、同じ曲にこだわって色々な種類の演奏を比較してみるのも良いと思います。大学関連の演奏会も沢山ありますから、生の演奏に触れる機会も大切にしてください。

※ 藤井 喬梓
作曲・音楽理論

1. メタボ解消のために始めたサイクリングにはまっています。多摩川沿いのサイクリングコースがお勧め。
2. 猫です。ミハエル・エンデの「モモ」を読んでからカメにも親近感を持っています。
3. 2号館と6号館との間にある大きな桜が素晴らしいと思います。
4. 特にありませんが、夏目漱石の言う「則天去私」という言葉はよく考えます。
5. 専攻の勉強の他に、例えばゲーテやロマン・ロラン等、世界文学と言われる良い書物を読むこと。一生の財産になります。

※ 山本 英助
トロンボーン

1. 自家製カスピ海ヨーグルトにバナナとシリアルの朝食+淹れたてのコーヒー
2. 犬と猫、どちらも大好きです。我が家には犬一匹(豆柴)と猫4匹がいます。飼ってみたいと思うのは馬。でも世話が大変そう。
3. 喫茶室ヨネザワ
4. 特に座右の銘というものはないのですが、小さい努力を長い時間をかけて積み重ねていくことがほんとうに大事だと思っていますので、「継続は力なり」ということで
5. 国立音楽大学の卒業生は、音楽業界で活躍している人が数多くいますが、専門分野でない方面で活躍して有名になっている先輩もたくさんいます。それは、「くにたち」が単に音楽の専門大学というだけでなく、ジャンルをこえた知識や経験を豊富に得ることのできる大学で、多くの可能性を発見できる場所だからです。大学4年間は思っているよりもずっと短いので「あっ」という間に過ぎてしまいます。国立音楽大学というこのすばらしい環境の中で、いろいろな経験を自らすすんで、できるだけたくさんして、自分が将来したいことのきっかけを見つけてほしいです。